

大都市から近く豊かな自然、そして「適度な疎」 滋賀県「ワーケーション」導入事業がスタート

県内各地で150名の参加を目指す！第一弾はホテル最上階で琵琶湖を眺めながら



滋賀県は、「大都市に隣接」、「豊かな自然景観や文化財」、「適度な疎」という優位性を最大限に活かし、滋賀県へのワーケーションを推進するプロジェクトを開始し、第一弾をびわ湖大津プリンスホテル・西教寺（大津市）で12月15日（火）～16日（水）に実施しました。

第一弾となる今回は、東京や大阪に本社を置く企業に勤務する男女計6名が参加し、1泊2日で滞在、1日目は、ホテル38階にある昼間は営業していないバースペースを活用して勤務、2日目は、西教寺の清掃活動への参加など地域との関わりを持っていただきました。モニターとして参加した、旅行会社に勤務する女性は、時折、雄大な景色を眺めながら「コロナ禍で週1～2回在宅勤務をしているが、リフレッシュにつながる。京都や大阪からもアクセスが良く、文化財巡りやサイクリングもやってみたい。」とコメント。

滋賀県では、来年3月末までの間に、県内の複数地域でそれぞれの地域課題解決につながる活動への参加などを組み込んだワーケーションプランを作成し、計150名のモニター参加を目指しています。また、モニター参加者や企業からアンケート、レポートの提出を受け、県内の宿泊事業者などと共有することで、今後の本格的なワーケーションの展開につなげていきます。

<参加モニターの募集>

モニターに参加を希望される企業等の皆様は、下記の連絡先にご連絡をお願いいたします。
連絡先：株式会社日本旅行草津支店 中村・中嶋 TEL：077-562-6001

1. 第一弾開催概要

- (1)会場：びわ湖大津プリンスホテル38階トップオブオオツ（大津市におの浜）
天台真盛宗総本山 西教寺（大津市坂本）
- (2)期間：令和2年12月15日(火)～月16日(水) 2日間
- (3)参加者：東京や大阪に本社を置く旅行会社や交通会社等に勤務する 男女6名



びわ湖大津プリンスホテルからの景色



勤務する女性モニター



西教寺で就職から話を聞くモニター



西教寺での清掃活動

2. 滋賀県のワーケーション推進

滋賀県では、新型コロナウイルスの影響による働き方の変化を捉え、滋賀の優位性を最大限に活かすための「観光三方よし」の実現を目指し、ワーケーション事業に取り組んでいきます。

この事業では、単なる観光需要の取り組みだけでなく、滋賀の魅力を感じいただき、地域との交流機会の創出による関係人口の増加を通じ、多くの方に滋賀に繰り返し訪れていただくことで、将来に向けた持続的な地域の活性化を目指していきます。

<観光三方よし>

- ① 宿泊事業者の平日を始めとした稼働率の向上
- ② 利用者（企業）の働き方改革やCSR、SDGs等の企業価値の向上
- ③ 琵琶湖や森林の保全活動など、地域活動への参加による地域活性化



3. 滋賀県の優れた交通アクセス

優れた交通アクセス

■大津駅からJRの在来線で

京都駅まで約10分
大阪駅まで約40分



■米原駅から新幹線で

東京駅まで約2時間10分
名古屋駅まで約30分
広島駅まで約2時間
博多駅まで約3時間20分